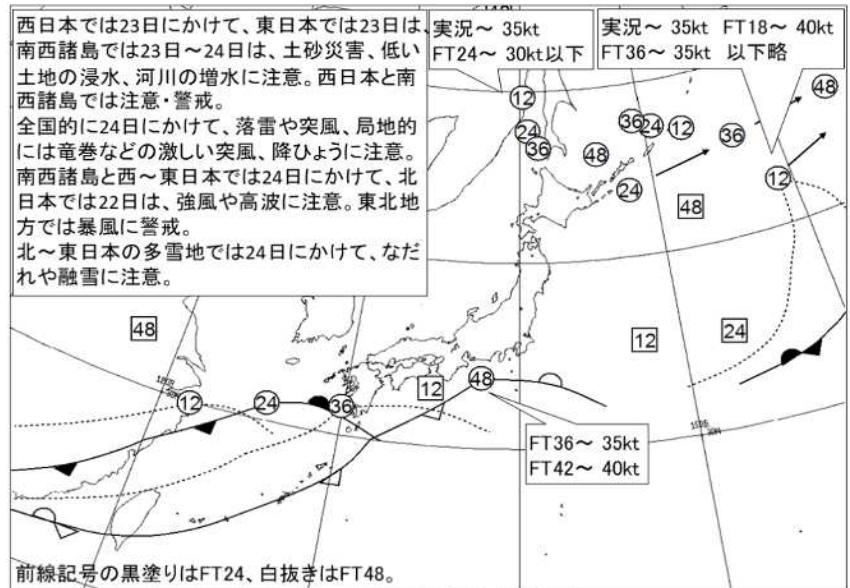


1. 実況上の着目点

- ① 沿海州には500hPa -30℃以下の寒気を伴った寒冷渦があつてゆっくり東進。寒冷渦からのびるトラフ前面で850hPa 300Kの下層暖湿気が流入し日本海中部～北部で中下層雲が広がっている。
- ② 間宮海峡には①の寒冷渦のほぼ直下に地上低気圧があつてほとんど停滞。低気圧と本州付近を東に移動する高気圧との間で気圧の傾きが大きく、北日本では強い風が吹いて、しけている所がある。
- ③ 500hPa 5760m付近の強風軸に対応し、華中に前線がのびる。
- ④ 中国東北区～本州付近にかけて、衛星画像で薄い黄砂域を確認。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、寒冷渦の域内で動きが遅く、22日は本州付近や日本の東に中心を持つ高気圧との間で気圧の傾きが大きいの。北～東日本では22日は強風や高波に注意。東北地方では暴風に警戒。
- ② 1項①の寒冷渦は24日にかけて北海道地方に進み、寒冷渦からのびるトラフが22日と23日にも北日本を通過する。上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、22日は下層暖湿気の影響も加わって、大気の状態が非常に不安定となる所がある。北日本では24日にかけて、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ③ 1項③の前線上の華中では、22日朝には低気圧が発生して東に進み、23日は発達しながら九州を通過して本州の太平洋沿岸を進み、24日には日本の東へ進む。低気圧に向かって850hPa 336K以上の下層暖湿気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となるため、雷を伴って激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。西日本では23日にかけて、東日本では23日は、南西諸島では23日～24日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意し、西日本と南西諸島では注意・警戒。また、落雷や突風、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 2項③の低気圧や前線の周辺では強い風や非常に強い風が吹いて波が高くなり、しける所がある。南西諸島と西～東日本では23日～24日は、強風や高波に注意。
- ⑤ 北海道地方では24日は、850hPa -6℃以下の下層寒気が流入する。降雪に留意。
- ⑥ 全国的に日中は昇温するため、北～東日本の多雪地では24日にかけて、なだれや融雪に注意。
- ⑦ 1項④の黄砂は薄まりながら、23日には日本の東へ抜ける見込み。22日は視程の悪化に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。2項③の低気圧に伴う下層暖湿気の流入の強さや範囲の予想には不確かさがある。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間) : 九州北部120、九州南部100mm。② 波浪(明日まで) : 北海道・東北4、その他広い範囲で3m。③ 高潮(明日まで) : 北日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。